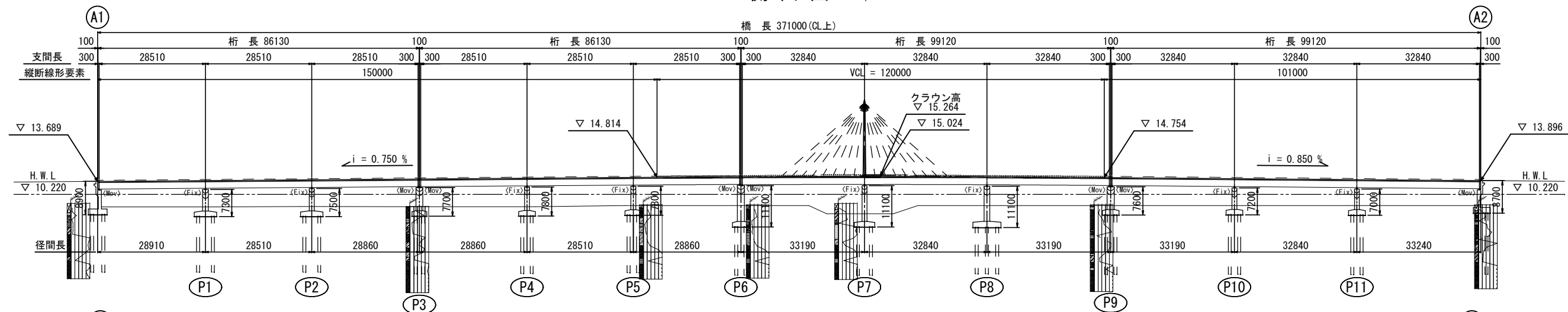
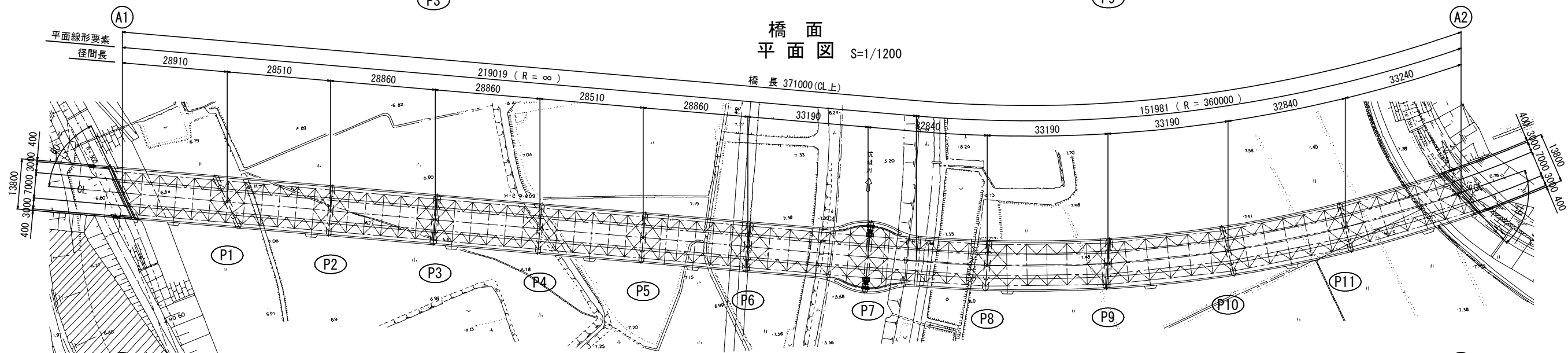


源氏大橋 現況一般図（その1）

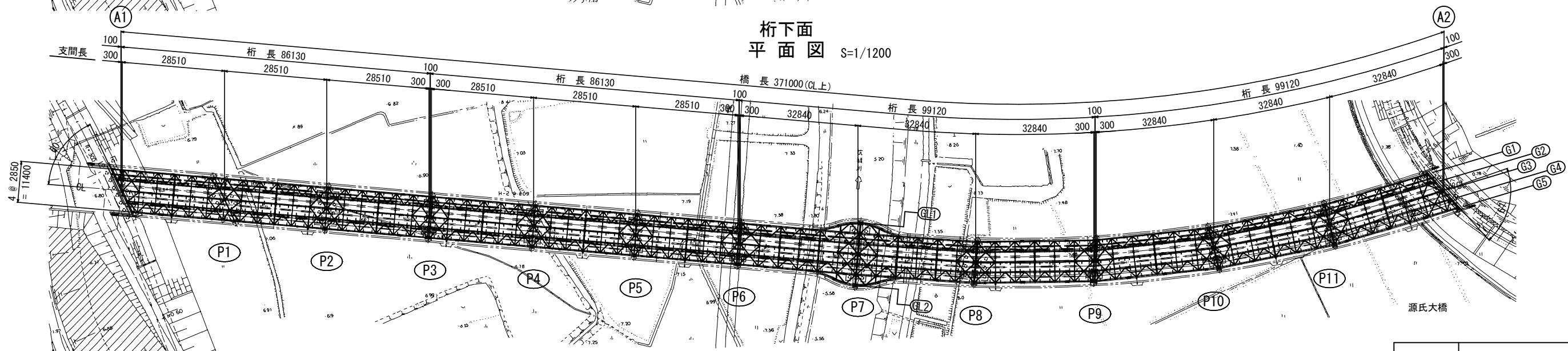
CL上  
側面図 S=1/1200



橋面  
平面図 S=1/1200



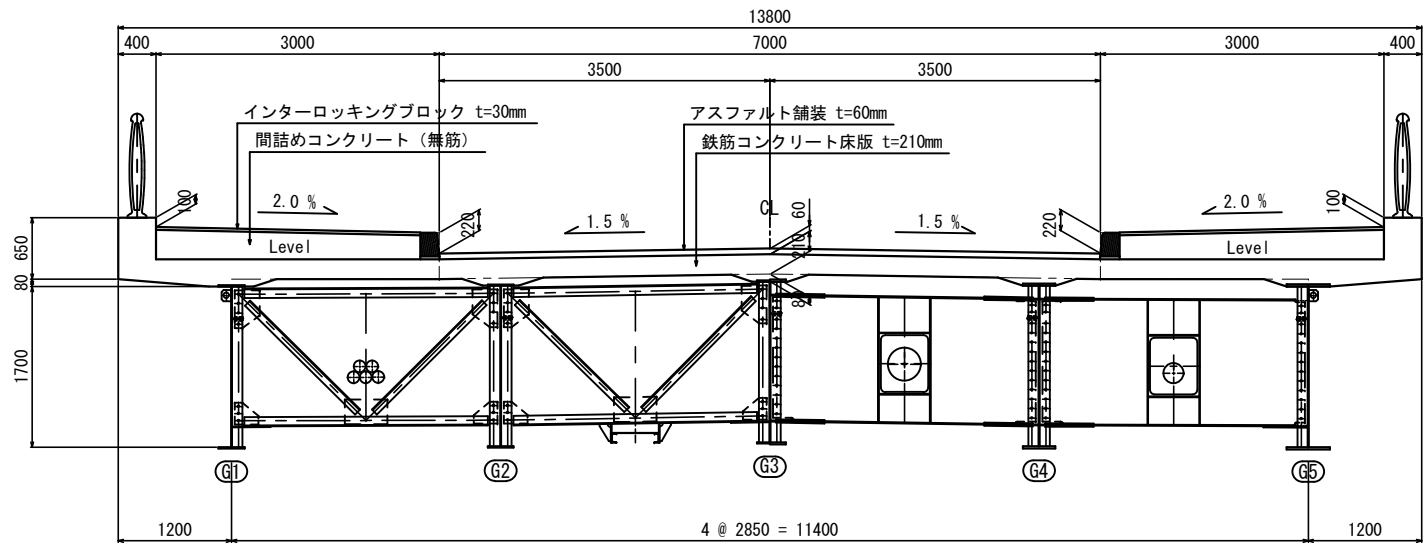
桁下面  
平面図 S=1/1200



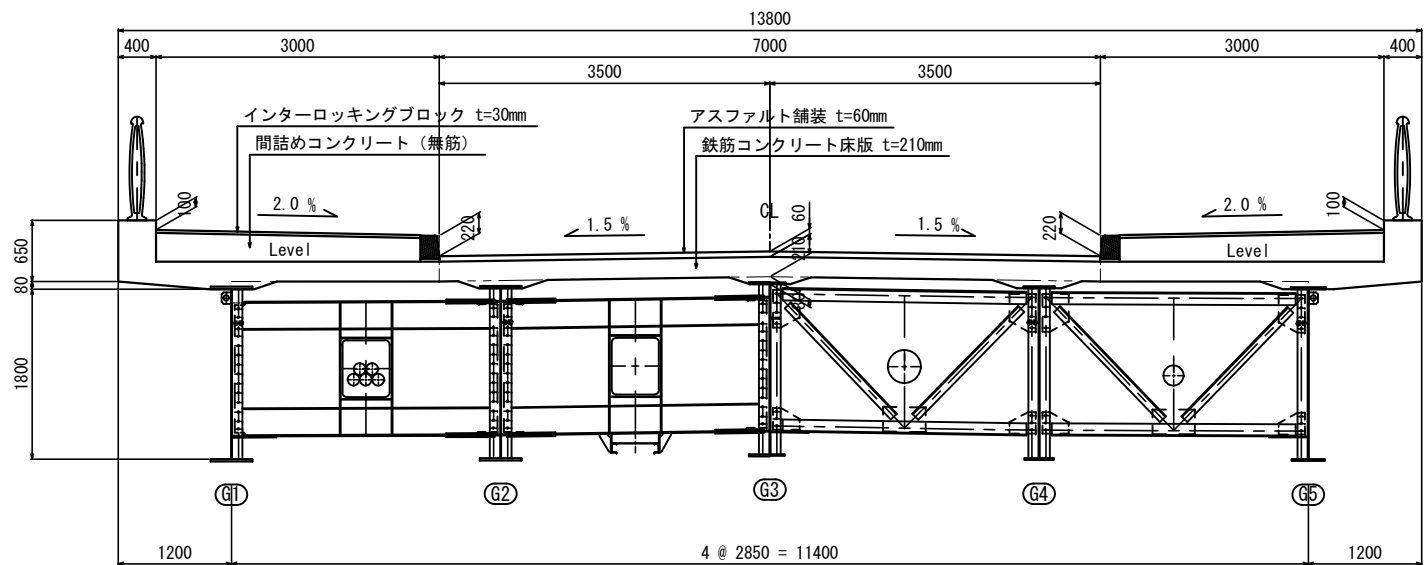
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 現況一般図 (その1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	1
大垣市建設部道路課			

A1 ～ P6 間  
断面図 S=1/80

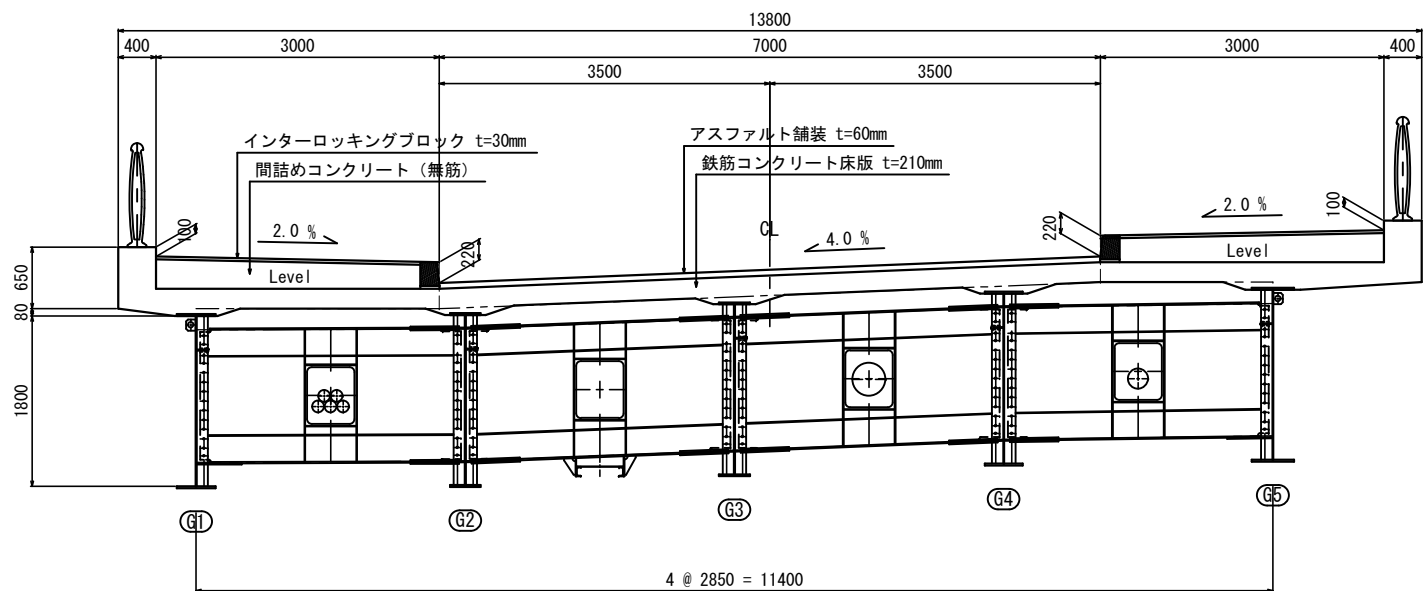
源氏大橋 現況一般図（その2）



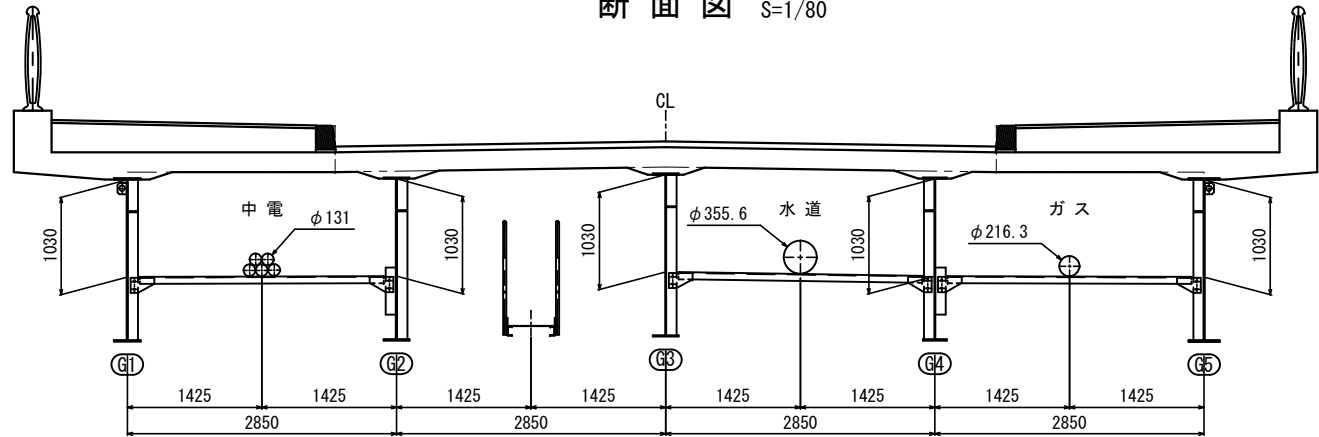
P6 ～ A2 間（直線部）  
断面図 S=1/80



P6 ～ A2 間（R 部）  
断面図 S=1/80



添架物  
断面図 S=1/80



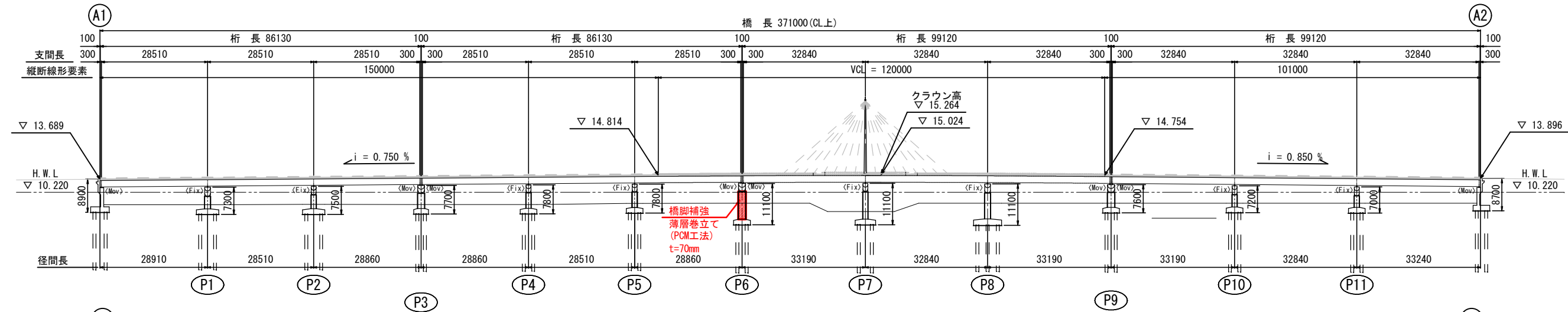
橋梁諸元表

竣工年月	平成9年3月
橋格・活荷重	1等橋(TL-20)
上部工形式	鋼3径間連続非合成鈹桁橋 × 4連
橋長	371.000 m
桁長	86.130 m × 2連 + 99.120 m × 2連
支間長	3 @ 28.910 m × 2連 + 3 @ 32.840 m × 2連
全幅員	13.800 m
有効幅員	車道部: 3.500 m × 2 歩道部: 3.000 m × 2
斜角	60°00'00" ～ 90°00'00" ～ 67°00'00"
舗装	車道部: アスファルト舗装 t = 60 mm 歩道部: インターロッキングブロック t = 30 mm
床版	鉄筋コンクリート床版 t = 210 mm (コンクリート: $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A)
縦断勾配	0.750% 直線勾配(←) ～ VCL=120.000 m ～ 0.850% 直線勾配(→)
横断勾配	車道部: 1.5% 直線拌み勾配 ～ 4.0% 直線片勾配 歩道部: 2.0% 直線片勾配
設計水平震度	kh = 0.25 (レベル1)
下部工形式	A1・A2 橋台: 逆T式橋台 (コンクリート: $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A) P1～P11 橋脚: 張出式橋脚 (コンクリート: $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A)
基礎工形式	鋼管杭基礎
適用示方書	岐阜県 橋梁設計要領 (H3・4) 道路橋示方書・同解説 (H2・2)

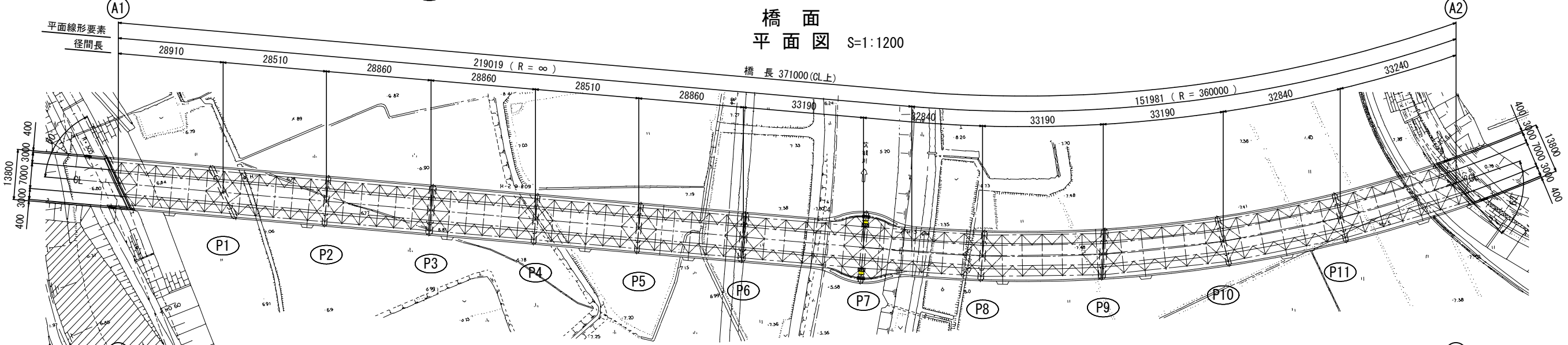
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 現況一般図 (その2)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	2
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 補強一般図 (その1)

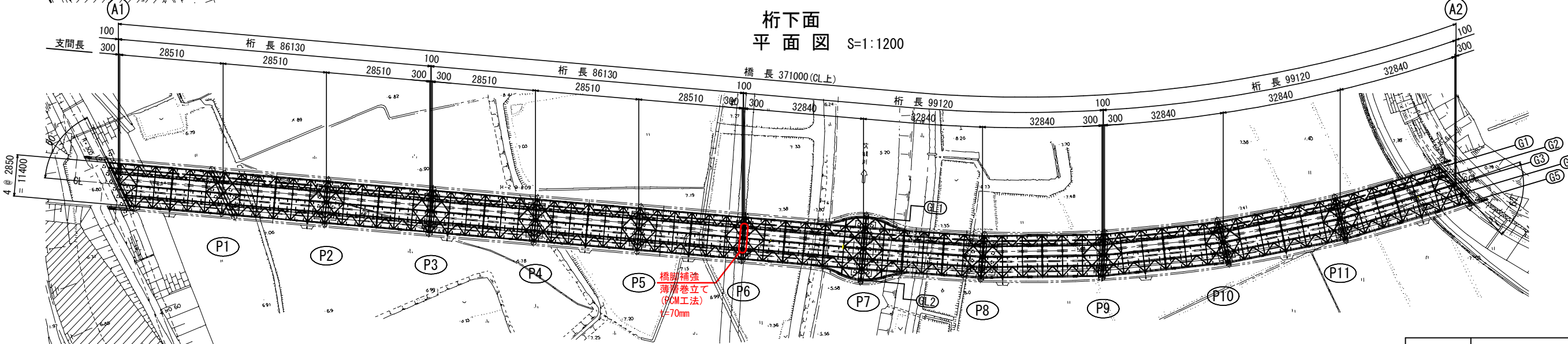
CL上  
側面図 S=1:1200



橋面  
平面図 S=1:1200

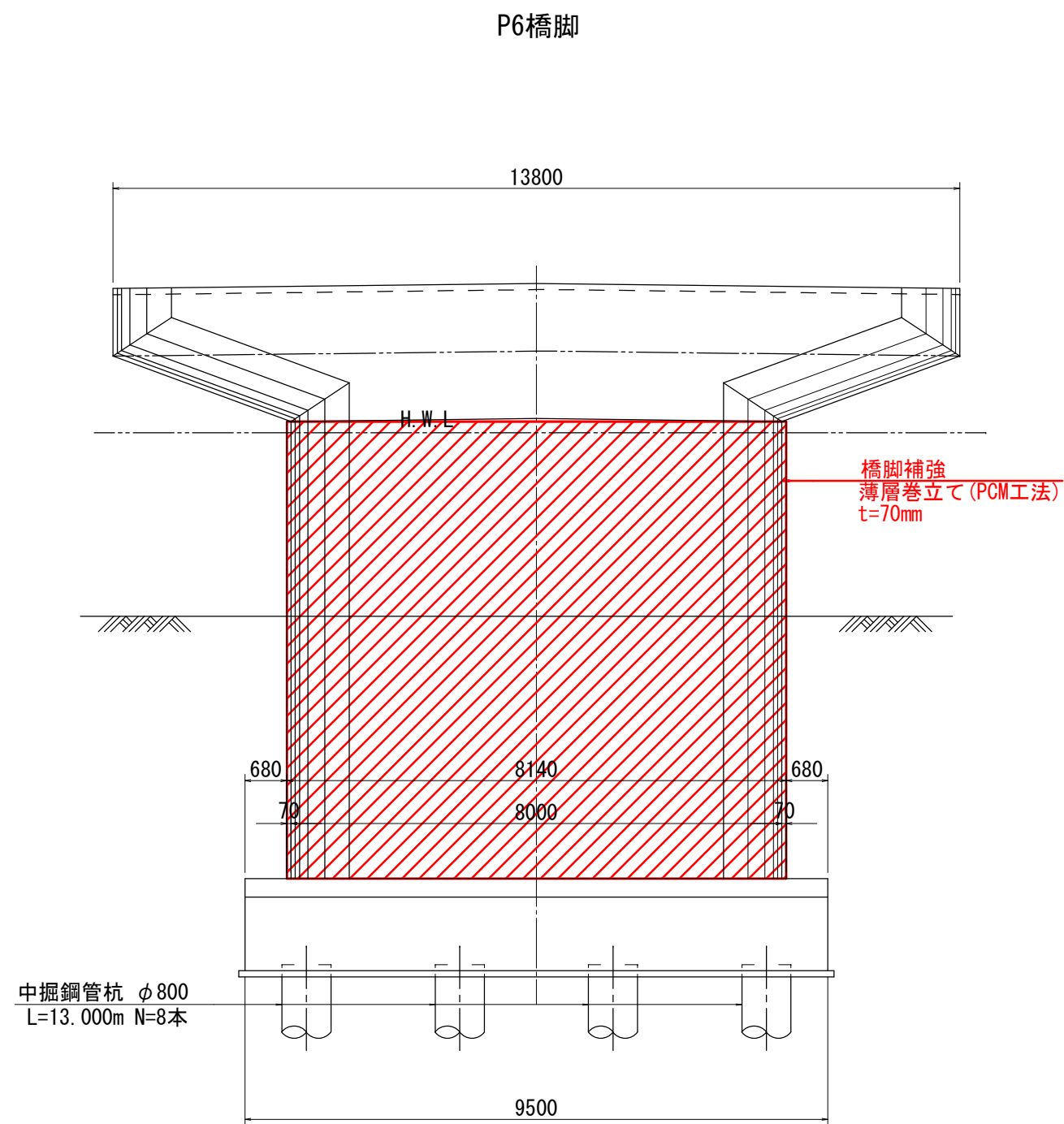


桁下面  
平面図 S=1:1200



工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 補強一般図 (その1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	3
大垣市建設部道路課			

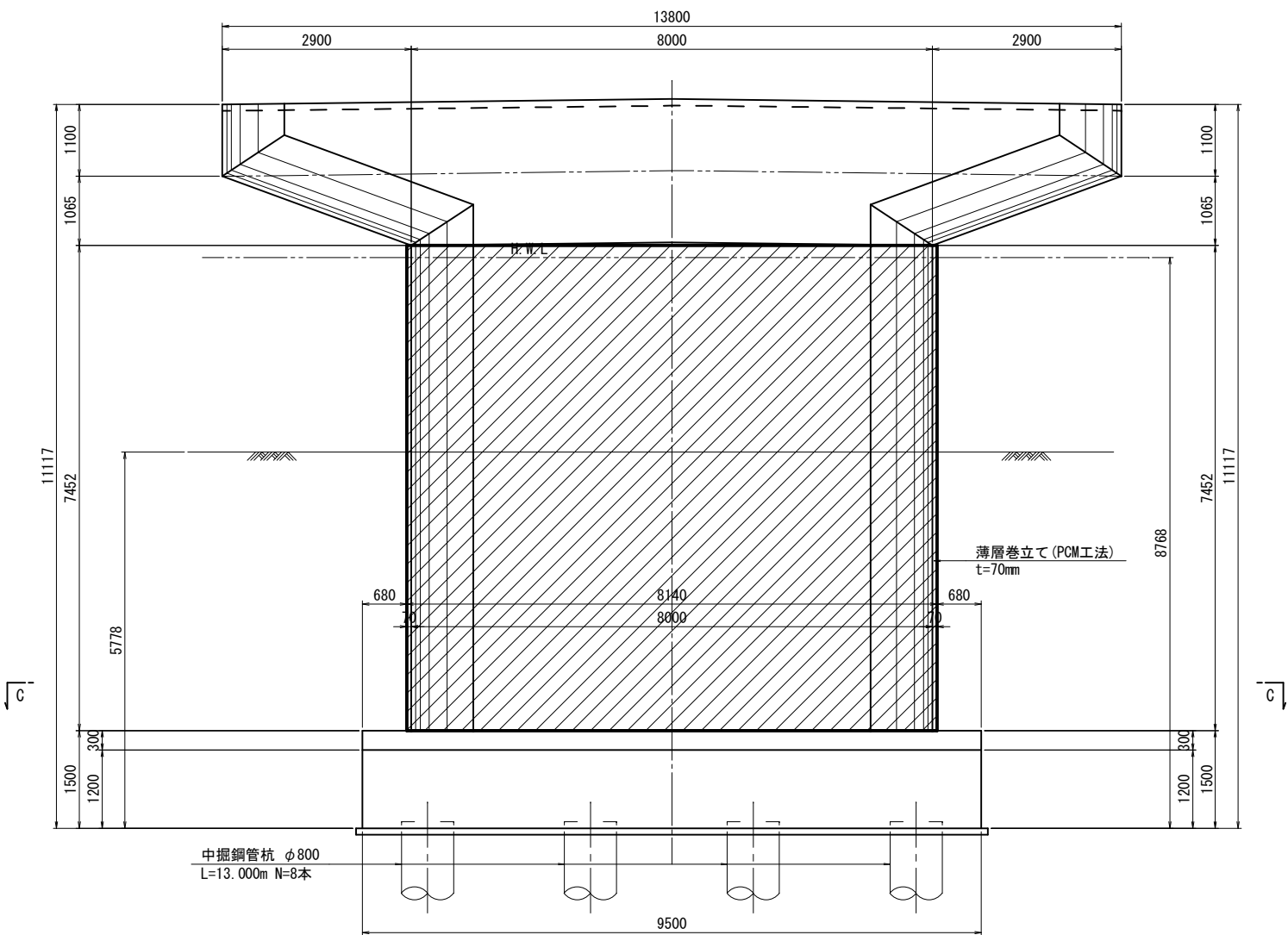
源氏大橋 補強一般図（その2） S=1:100



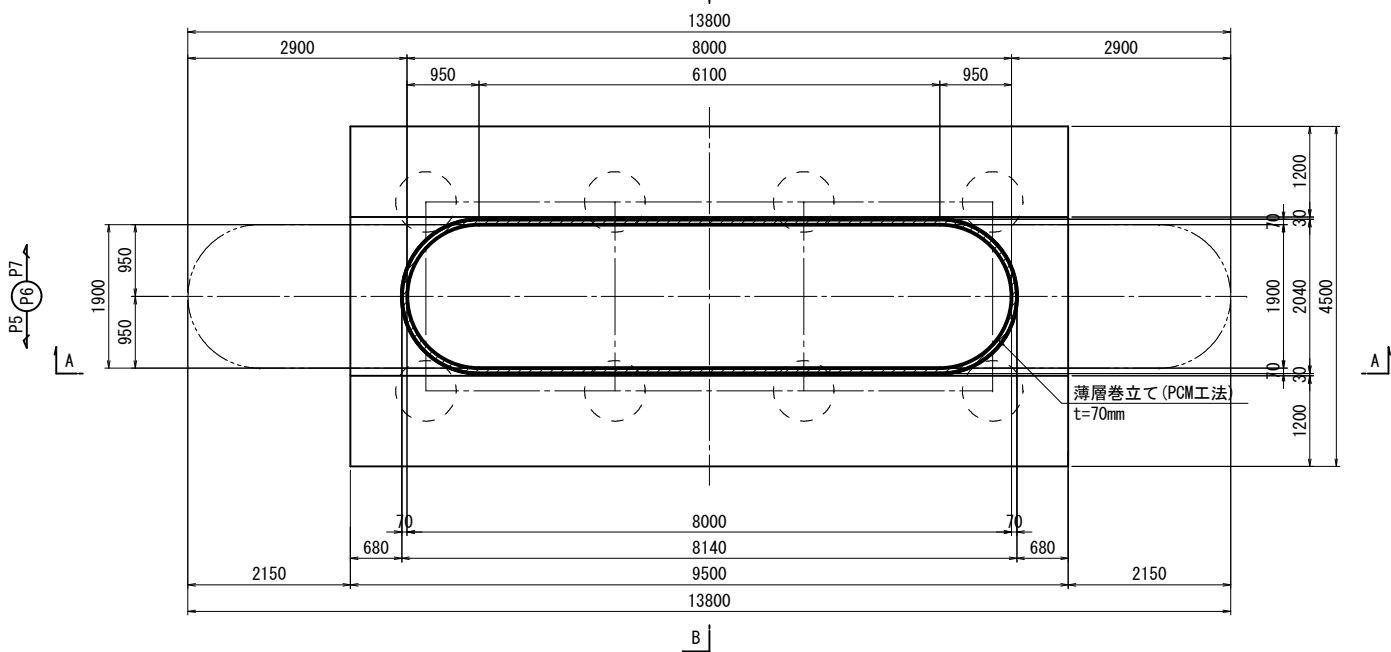
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 補強一般図 (その2)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	4
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 P6橋脚補強一般図 S=1:100

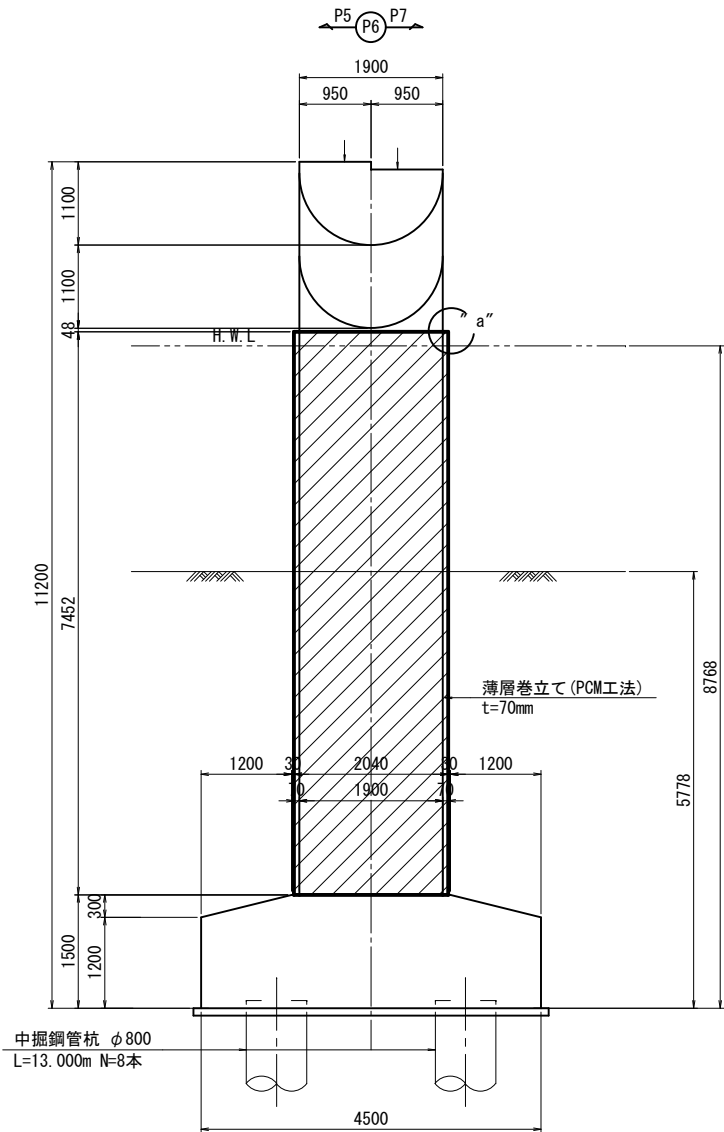
正面図  
A - A



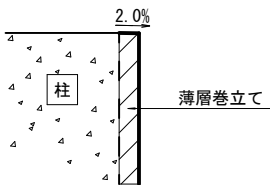
平面図  
C - C



側面図  
B - B



“a”部詳細図 S=1:20



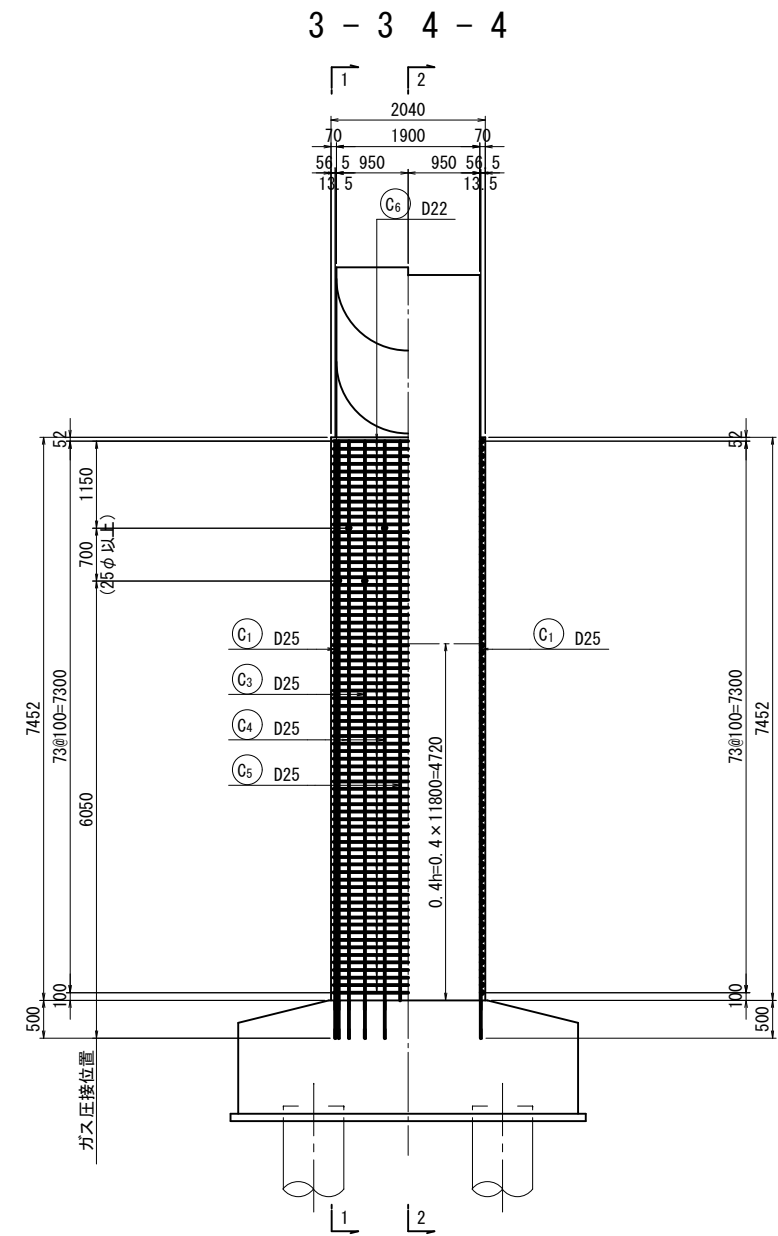
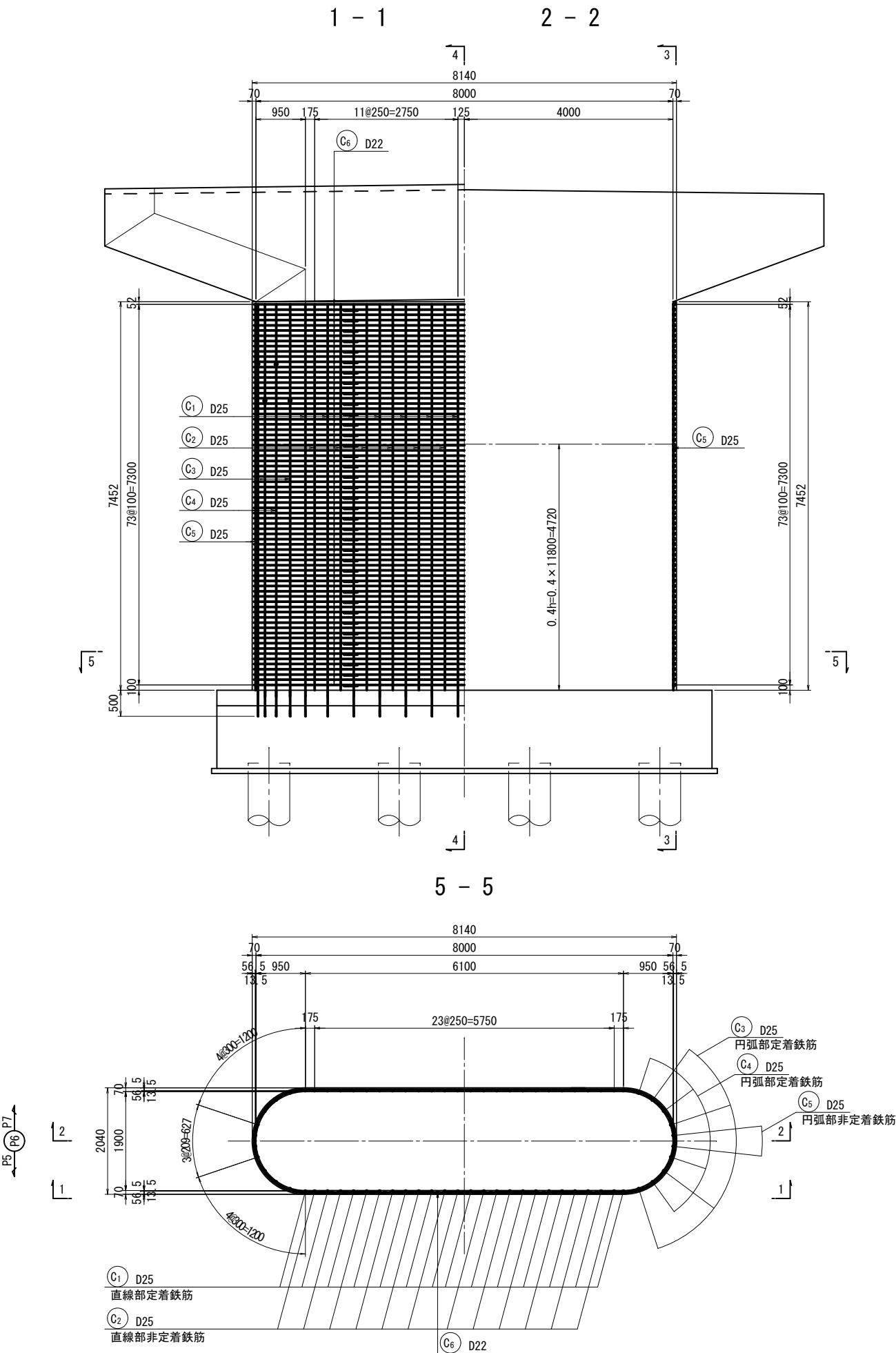
補強設計条件

既設橋梁	竣工年 (準拠基準)	平成9年(準拠基準:平成2年道路橋示方書・同解説)	
上部工形式	橋種	鋼3径間連続非合成鉄桁橋×4連	
	形式	全幅:13.80m 有効幅員:3.000m(歩道)+7.000m(車道)+3.000m(歩道)	
下部工形式	幅員	桁長:86.130m×2連+99.120m×2連	
	桁長		
設計荷重	躯体	張出式橋脚	
	基礎	鋼管杭基礎	
設計水平震度 (標準値)	上部工死荷重	4400kN	
	橋軸方向	橋軸直角方向	
下部工材料	レベル2	1.30	1.30
	(Cz・khco) タイプⅡ	1.75	1.75
橋脚補強工法	既設	補強	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
適用基準	鉄筋	SD295	SD345
	薄層巻立て (PCM工法)		
適用基準	道路橋示方書・同解説 日本道路協会(平成14.24年3月)		
	既設橋の耐震補強設計に関する技術資料 国土技術政策総合研究所資料 第700号(平成24年11月)		
適用基準	既設道路橋の耐震補強に関する参考資料 日本道路協会(平成9年8月)		
	既設橋梁の耐震補強工法事例集 海洋架橋・橋梁調査会(平成17年4月)		
適用基準	橋梁設計要領(令和元年7月)		

- <注記>
1. 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
  2. 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
  3. 補強天端は排水勾配として2%程度の勾配をつけること。

工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P6橋脚補強一般図	縮尺	図示
設計年月日		図面番号	5
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 P6橋脚補強詳細図(その1) S=1:100

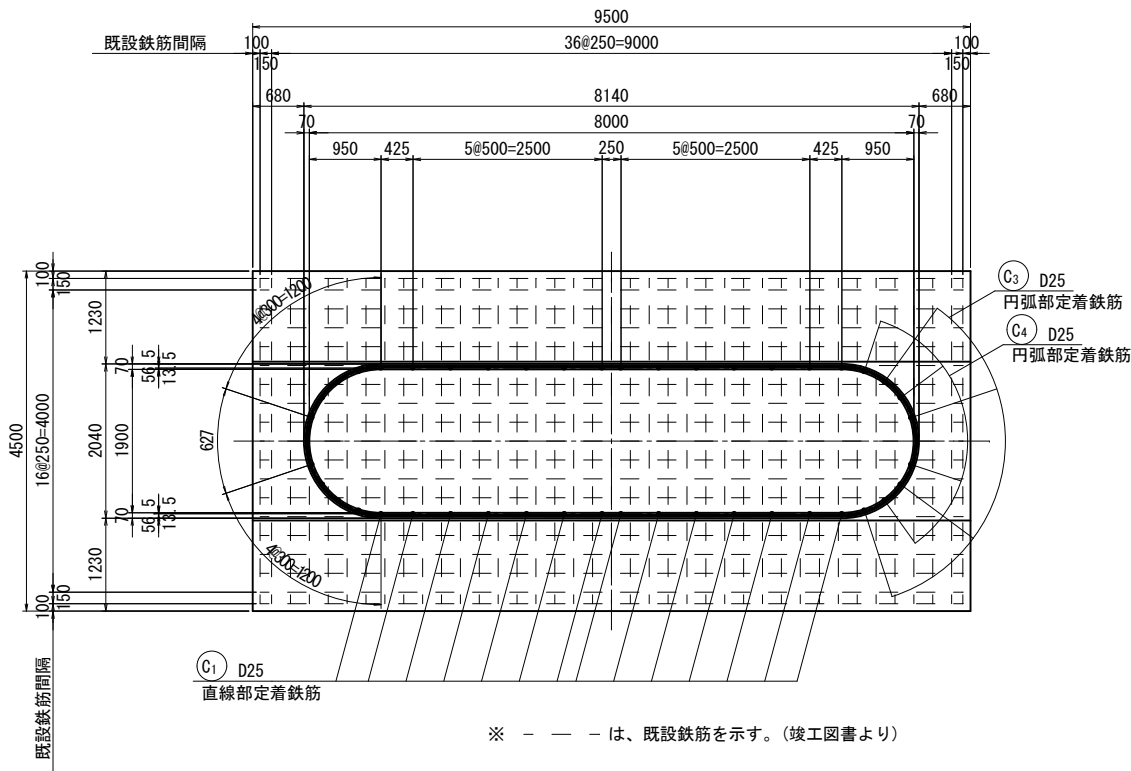


- 〈注記〉
1. 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
  2. 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
  3. アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
  4. 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
  5. 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
  6. 補強コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
  7. ガス圧接部については、圧接部のふくらみ及び施工余裕を考慮し、コンクリートをはつる等の配慮を行うこと。

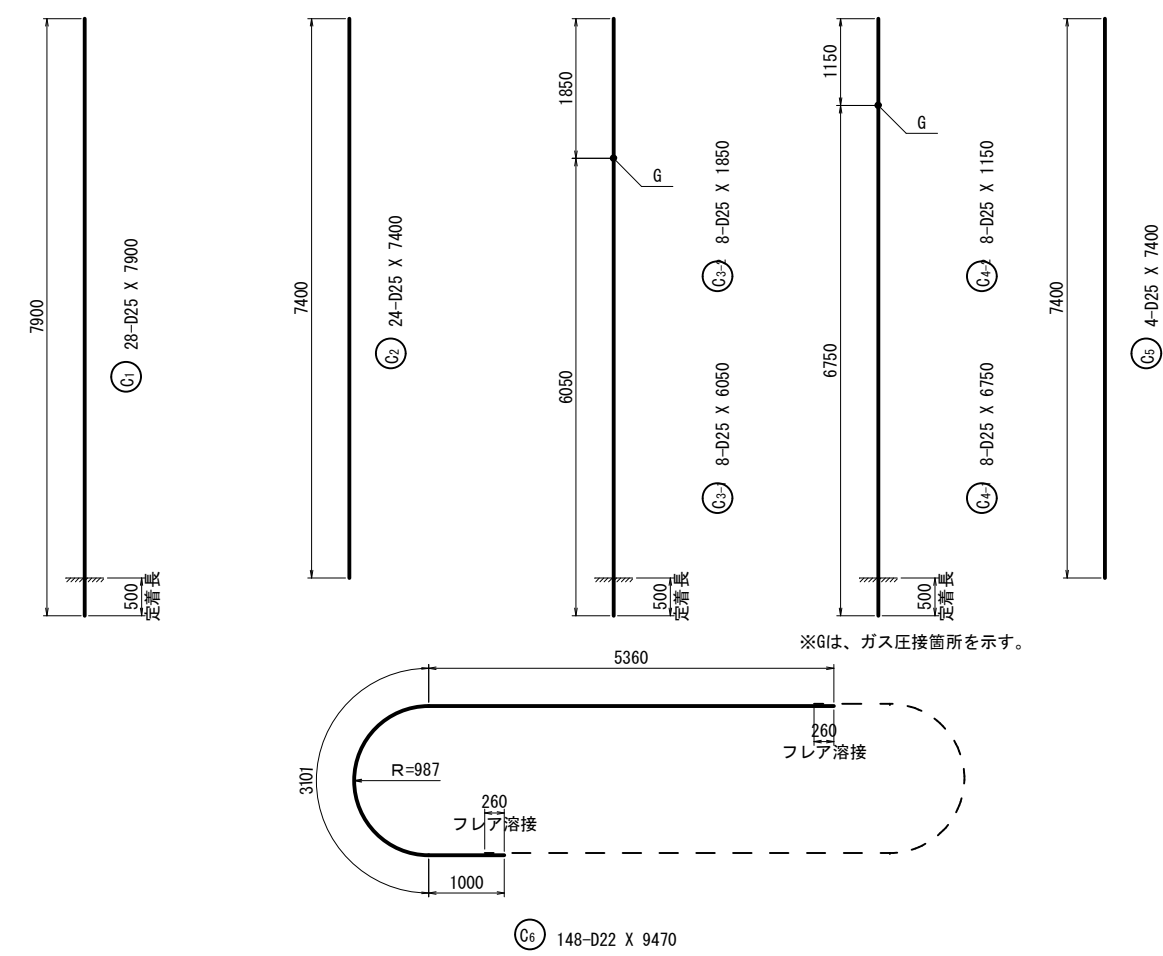
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P6橋脚補強詳細図(その1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	6
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 P6橋脚補強詳細図(その2)

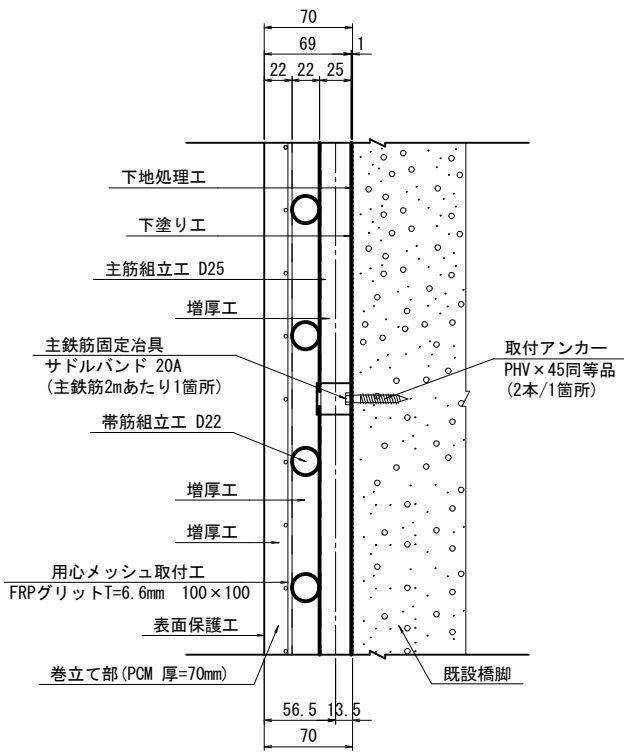
アンカー筋配置図 S=1:100



鉄筋加工図 S=1:100



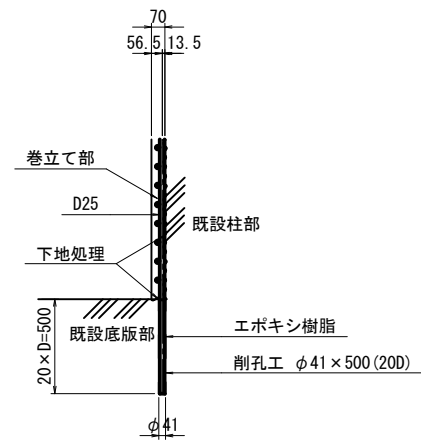
かぶりおよび施工断面詳細図 S=1:6



施工手順

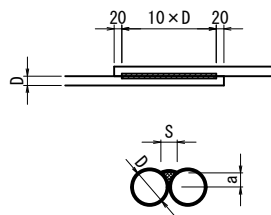


補強鉄筋埋込み図 S=1:40



注) プラストは骨材が現れる程度とする。  
削孔時に底版の鉄筋を切断しないこと。

フレア溶接詳細図



径	溶接ビード幅 S	のど厚 a
D16	8.0	3.24
D19	9.5	4.41
D22	11.0	5.58
D25	12.5	5.75

鉄筋質量表

橋脚1基当り						
記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)
C <sub>1</sub>	D25	7900	28	3.98	31.44	880
C <sub>2</sub>	D25	7400	24	3.98	29.45	707
C <sub>3-1</sub>	D25	6050	8	3.98	24.08	193
C <sub>3-2</sub>	D25	1850	8	3.98	7.36	59
C <sub>4-1</sub>	D25	6750	8	3.98	26.87	215
C <sub>4-2</sub>	D25	1150	8	3.98	4.58	37
C <sub>5</sub>	D25	7400	4	3.98	29.45	118
C <sub>6</sub>	D22	9470	148	3.04	28.79	4261
6470						
(圧接箇所) (フレア溶接箇所)						
合計 D25				2209 kg	( 16)	
D22				4261 kg	(148)	
総質量				6470 kg	( 16)	(148)

- 〈注記〉
- 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
  - 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
  - アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
  - 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
  - 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
  - 補強コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
  - ガス圧接部については、圧接部のふくらみ及び施工余裕を考慮し、コンクリートをはつる等の配慮を行うこと。

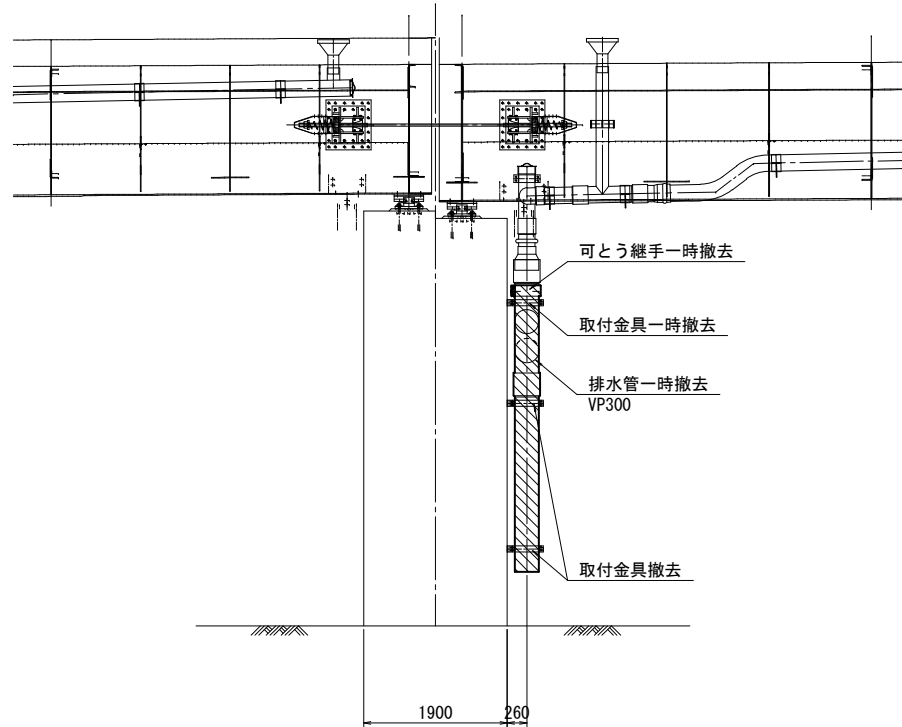
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P6橋脚補強詳細図(その2)	縮尺	図示
設計年月日		図面番号	7
大垣市建設部道路課			



P6橋脚 排水管撤去図 S=1:100

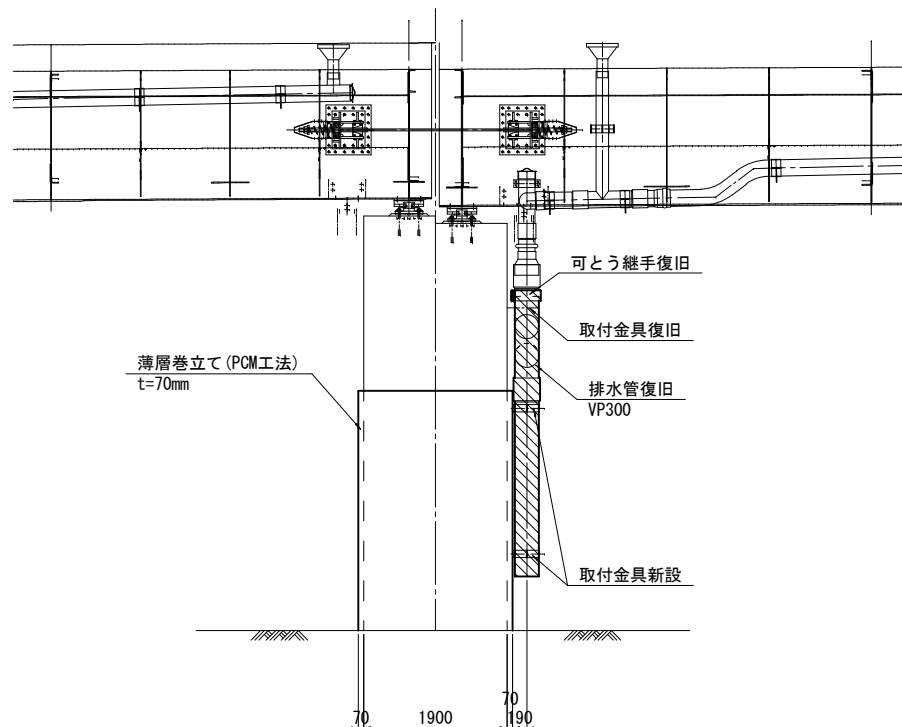
側面図

起点側 (P6) 終点側

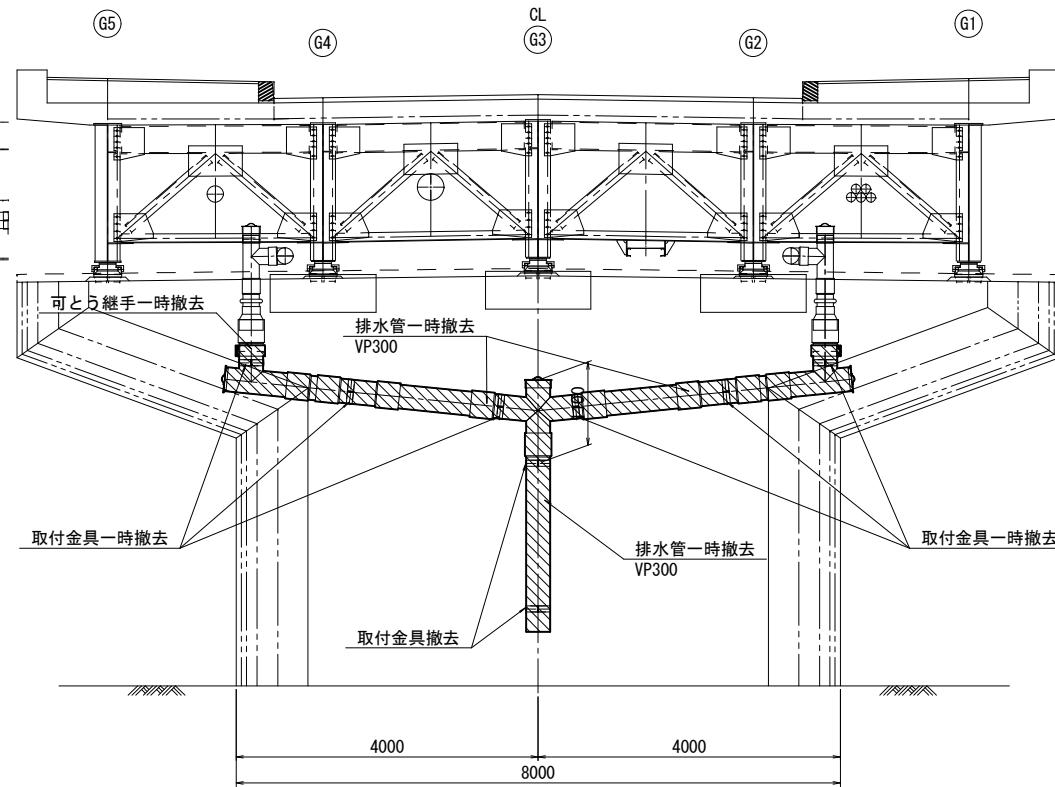


側面図

起点側 (P6) 終点側

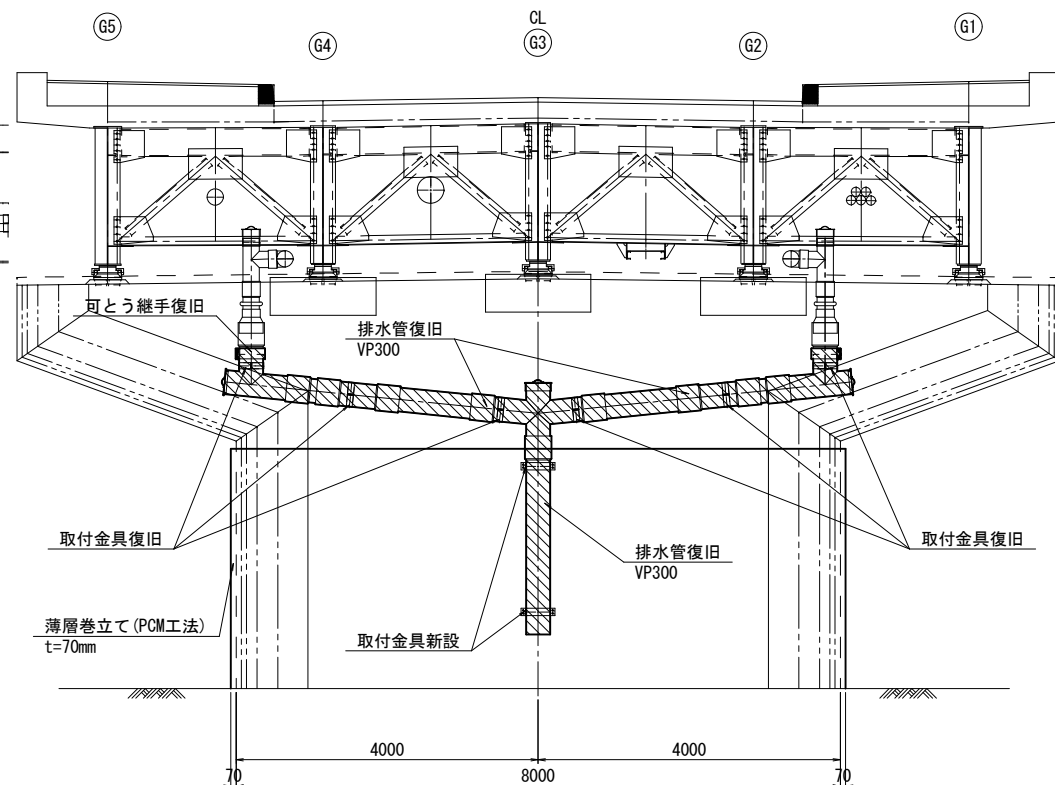


終点側正面図

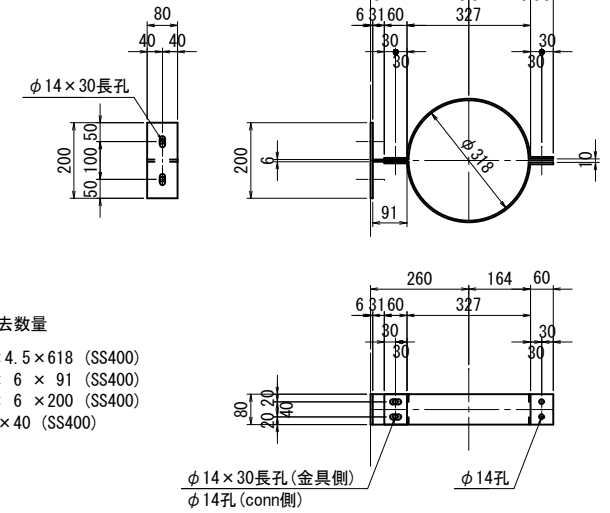


P6橋脚 排水装置復旧図 S=1:100

終点側正面図



撤去取付金具詳細図 S=1:20



1基当り撤去数量

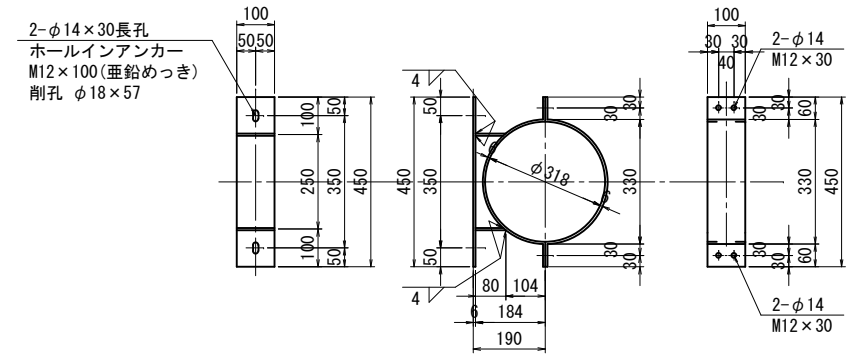
4-PL 80×4.5×618 (SS400)

2-PL 80×6×91 (SS400)

8-BN M12×40 (SS400)

© 2012 Wiley Periodicals, Inc.

新設取付金具詳細図 S=1:20



1基当り製作数量

4-FB 100×6×629 (SS400)

4-FB 100×6× 80 (SS400)

2-FB 100×6×450 (SS400)

8-BN M12 × 35<2W>

4-ホールインアンカー M12×100(亜鉛めっき)

〈注記〉

1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。

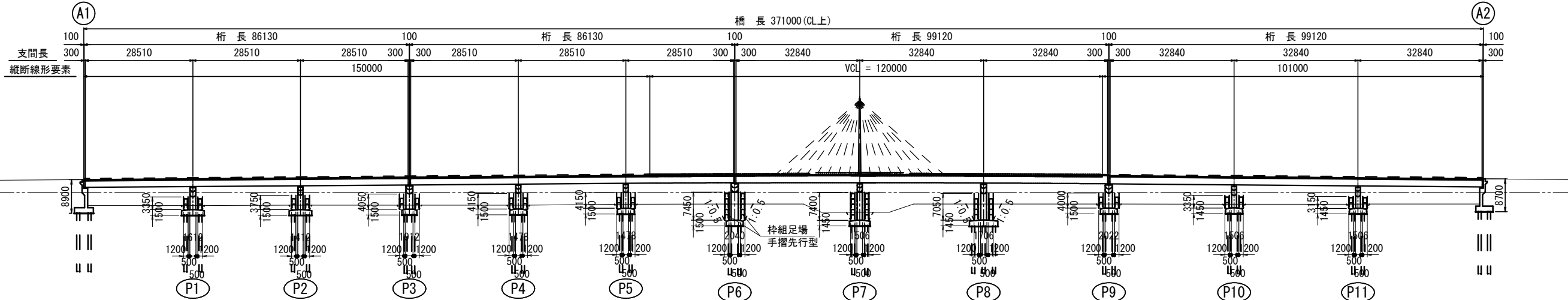
2. 取付金具の表面処理は溶融亜鉛めっき仕上げ (HDZT77) とする。

工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 排水装置移設工	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	8
大垣市建設部道路課			

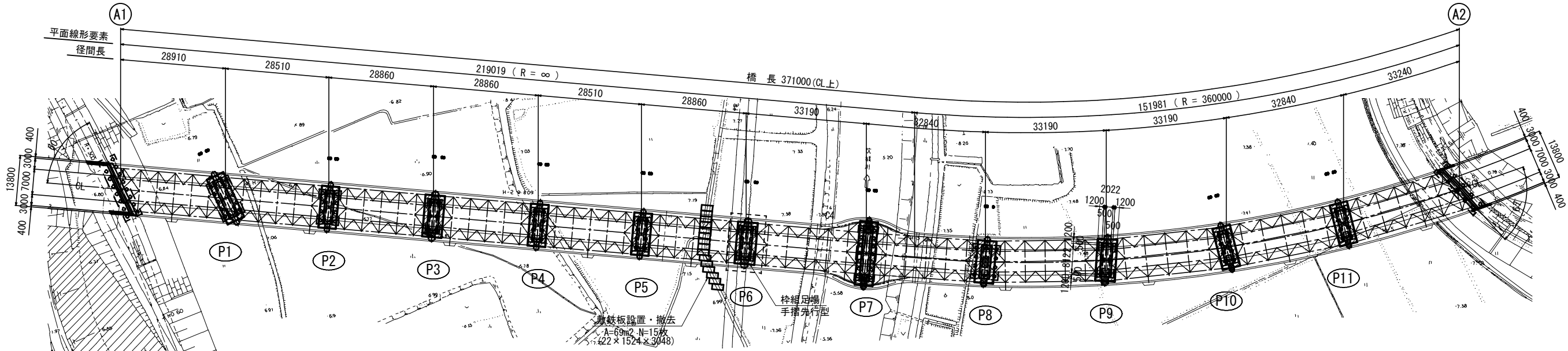


S=1 : 1200

CL上



平面図



〈注記〉

1. 足場工の設備は「橋梁架設工事の積算(令和3年度版)」に準拠している。
2. 施工に際しては、強度計算を行い適切な部材配置を行うこと。

補修用足場工 数量表

名 称	規 格	单位	数 量	備 考
梓組足場	手摺先行型	掛m2	213	

1基当

工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工 事 名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図 面 名 称	(源氏大橋) 仮設計画図(参考図)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	9
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			